財界不況ノ命ヲ受ケ社業ノ不振ヲ来シ木形工ノ如キ近来作業数ヲ減ゼシ
メル為メ人員ノ過剰ヲ来シ之ヲ以テ止ムナク比較的新シク入社セシ五名ヲ解雇シ
解雇手当規則ニハ二ケ年以上勤続者ニ対シテハ日給十五日分ヨリ廿日分ヲ給ストアルモ
欠隣的ニ常傭者ニ対シテハ三十日分臨時雇ニ対シテハ廿九日分ヲ支給シ△二名ハ
心好ク承諾シテ三月三十日（解雇手当）三十日分ヲ受取リ退社シ、然ルニ一方彼等ノ訴房スル
純労働者組合鶴東支部南葛支部及本部ニ於テハ三月二十三日左ノ如キ決議ヲナシ
三月二十四日会社ニ委員ヲ遣シ決議ヲ手ニシテ交渉ヲ重ネルモ会社ハ断然之ヲ拒絶セ
ルヲ以テ遂ニ廿六日職工二百六十名ノ内百八名ハ同盟罷工ヲ加スルニ至ル
純労働組合ニ於テ決議シタル事項左ノ如シ

決議

日本鋳鋼所ニ突発セル解雇問題ハ会社ハ解雇者ニ対シ日給百五十日分ニ相当スル
解雇手当ヲ支給セラルヽヲ至当ト認メ其ノ貫徹ヲ期ス之ノ交渉方ヲ純労働者組合本
部ニ委托ス

大正十年三月廿三日

純労働者組合鶴東支部

○別ニ廿ヲ指令ヨリ各十日分ヲ支給スル事トナレリ

決議

右支部ハ日本鋳鋼所ノ解雇問題ニ関シ鶴東支部ト行動ヲ共ニス

大正十年三月二十三日

純労働者組合南葛支部

決議

本組合ハ鶴東支部ヨリ委托ヲ承認シ極力其ノ貫徹ヲ期ス、
其ノ実行委員ニ左ノ五名ヲ推ス

平沢計七、徴里湾四郎、俵次雄、加藤栄次郎、島田数三、

大正十年三月廿三日

純労働者組合本部

一方会社側ニ於テハ三月廿六日各職工ニ対シ別項ノ如キ謄写版刷ヲ配布シ職工ノ反省
ヲ促シ更ニ備ヘ三月廿七日別項ノ如キ謄写版刷ニテ（全部二十七日ニ出勤セザル者ハ）罷業職工ニ郵送シ若シ来ル廿九日
（早ク（出勤））迄ニ出勤セザル者ハ解雇スル旨ヲ通告セリ、然ナレ共当日ハ朝ヨリ罷工職工将卸及職

財団法人 協調会